

記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、天野美代子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

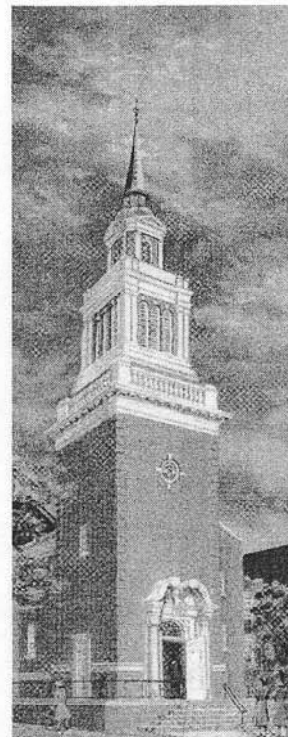
—3月11日の説教は、“晩餐をするときには”と題して、ルカによる福音書14章12-14節からでした。主イエスは、安息日にあるパリサイ人のかしらの家に招待されたとき、安息日の午餐、晩餐をするときには、貧しい人たちや体の不自由な人たちなど、お返しができない人々を呼ぶように教えられました。当時のユダヤ教の神殿は、貧しい人たちや体の不自由な人々をけがれているとして受け入れていませんでしたが、主イエスはその人々を受け入れるようにいわれました。主イエスのみ言葉から、今後の教会の在り方について考えました。

お知らせ

—アメリカの現政権は来年度（2019）、Japanese American Confinement Sites Program (JACS) の予算を削減すると表明しました。JACS は、第二次世界大戦中の日系人収容の事実を後の世代に伝えるための大事なプログラムです。この件に関して詳しい情報を知りたい方は、JACL のウェブサイトをご覧ください。ださるか、由紀牧師までご連絡ください。

今週の聖句：あなたがたは主にお会いすることのできるうちに、主を尋ねよ。近くおられるうちに呼び求めよ。（イザヤ書55章6節）

発行：2018年3月14日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200 Ext. 26



週報

第3666号
2018年 3月18日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200
Web: www.northshorebaptist.org

日曜日礼拝順序

2018年3月18日 午前11時 南部チャペル

頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	46	黙示録21章
賛美歌	2	“いざやともに こえうちあげて”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		荒井久和子姉
		イザヤ書58章6-12節
賛美歌	354	“牧主、わが主よ、まよう我らを”
説教		“水の絶えない泉” Scroggins 由紀牧師
賛美歌	529	“ああうれし わが身も”
献金		下竹寛子姉
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“主のみ言葉の成就”

“このように、わが口から出る言葉もむなしくわたしに帰らない。私の喜ぶところをなし、わたしが命じ送った事を果たす。”(イザヤ書55章11節)

シカゴはまだ冬の寒さが終わってはいませんが、教会の近くの家の庭に早くも黄色い花が咲き乱れているのを見かけました。春も近いようです。明るい色の花々が、冷たい風の中にあっても咲いているのを見て、希望を感じました。このところ、英語部、カレン語部の牧師の選出会議が頻繁に行われており、ミーティング続きですが、このような変動期において教会におけるミッション、方向性についても考えさせられております。またアメリカ国内、世界においても政治的な変動が人々の心を揺り動かしています。そのなかで、神のみことばの確かさについて、イザヤ書のみ言葉が目に入りました。わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない、人類を創造された神がいわれたみことばは、どのような人類の罪にあっても、必ず成就される、ということです。信徒にとってこれ以上の力、慰めはあり得ないほどの貴重なみ言葉であり、主をたちかえり、赦しとあわれみを与えられた人びとが(7節)、喜びをもって出てきて、安らかに導かれていく(12節)、という約束が与えられています。

春が近いように、イースターも近づいてきました。わたしたちの信仰生活においても、主イエスのよみがえりの確信、主のご来臨の確信によって、神との深い交わり、喜びが与えられますように、お祈りしています。(Scroggins 由紀)